

深谷高架橋のジョイント据付工事

Installation Work of FUKATANI Viaduct

(株)総合メンテナンス・技術部

1. まえがき

深谷高架橋は、新潟市を起点とし京都に至る延長558.2 kmの日本海側唯一の縦貫道路である一般国道8号線のうち、新潟県西頸城郡青海町深谷地先に架かる、PC単純箱桁橋およびPC7径間有ヒンジラーメン箱桁橋である。

本橋では昭和62年11月～12月に施工したシーペックジョイント据付工事について報告する。

2. 施工

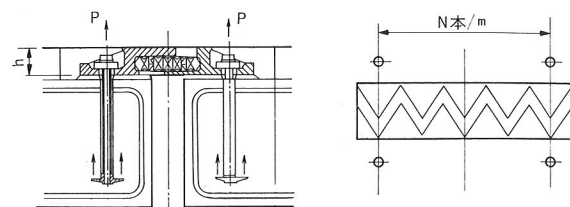
深谷高架橋の位置を図-1に、一般図を図-2にそれぞれ示す。

伸縮継手の選定にあたっては、走行性、止水性、メンテナンス、および耐摩耗性、塩害に対する耐腐食性が考慮された。その結果、アルミ合金製のシーペックジョイントWタイプが採用となり、後打ち材にはワダチ掘れの起きにくいエラストメリットを使用することになった。

本橋には伸縮部が8箇所(車道幅員8m+歩道)あり、A₁橋台上にW-50、P₁橋脚上にW-110、その他6箇所にW-80が使用された。さらに、歩道部は重ね合わせ式のSPタイプが使用された(図-2参照)。

図-3にWタイプの標準図を示す。

施工は、後付け工法とし、図-4に示すフローチャートに従い実施した。完成写真を写真-1、2に示す。



P: 鋼棒緊張力

図-3 Wタイプ標準図

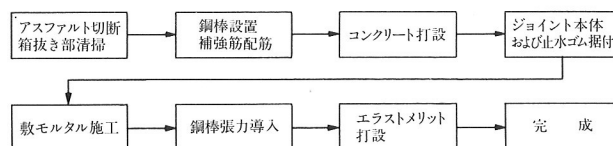


図-4 施工のフローチャート



写真-1 橋梁全景

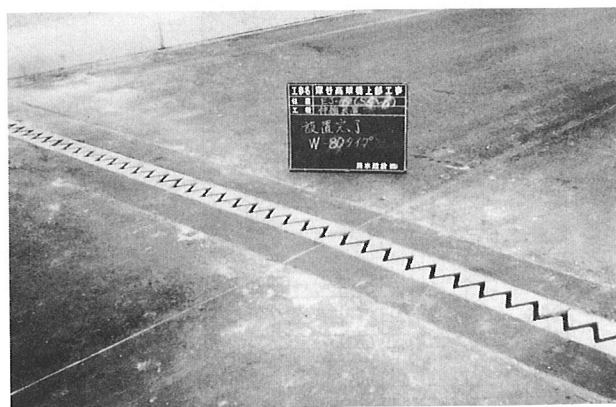


写真-2 ジョイントの設置完了



図-1 深谷高架橋の位置

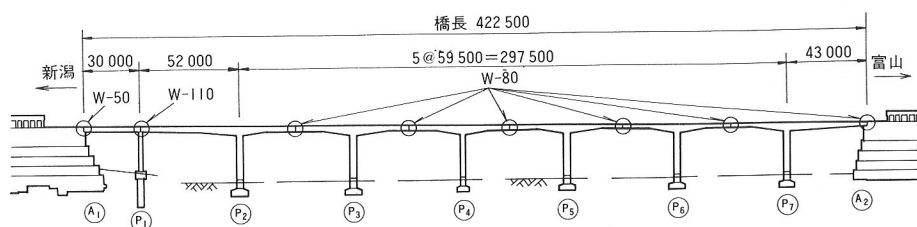


図-2 深谷高架橋の側面図

(文責・富澤光一郎)